

## 発表⑥



### 「モンゴルと日本の小学校の教科書に見るオノマトペ—動物と風—」

中西 令子 モンゲニ統合学校

D. LUVSANJARGAL 第18番学校

私たちは、モンゴルと日本の小学生の教科書から、動物と、風に関するオノマトペについて調べました。

- n; 日本語には、オノマトペが 5000~6000 ぐらいあると言われていまして、物事の状態や人の感情など表現する際には、欠かせないものです。

r; オノマトペについては、モンゴルではあまり知られていませんでしたが、教科書を見ると、けっこう使われているので、面白いと思いました。モンゴル語とロシア語、また、モンゴル語と韓国語の擬態語や擬音語、擬声語を比較した修士の論文などを見てみると 400 ぐらいのことばはあることが分かりました。
- r; 私たちが調べた結果では、日本とモンゴルのオノマトペの数はこのようになっています。日本語の方は、小1年生から3年生までの国語の教科書、モンゴル語の方は小1年生から5年生までの教科書から調べました。

日本	モンゴル
<ul style="list-style-type: none"> <li>出て来るオノマトペの全数は 228</li> <li>擬態語は 173</li> <li>擬音語と擬声語は 55 コ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出て来るオノマトペの全数は 153</li> <li>擬態語は 106 コ</li> <li>擬音語と擬声語は 47 コ</li> </ul>

- r; 特徴としては、モンゴル・日本とも低学年の教科書には動物がよく出てきますが、日本は、その中でも、オノマトペが出てくるのは、ネズミだけです。でも、モンゴルの方は、11種類の動物にオノマトペが出てきます。
- n; もう一つは、なぜかモンゴル・日本とも、低学年の教科書には雨の場面がなく、当然、教科書からは雨のオノマトペは得ることができませんでした。
- n; 馬のオノマトペについて調べますと、日本では「スーホーの白い馬」というお話がありますが、この中では、馬そのものに関するオノマトペはありません。

r; モンゴルの教科書には、このように馬の歩き方のオノマトペがあり(бөжир бөжир жороолоод 駆け足、бөн бөн гүйж 速足、дөмөр дөмөр алхана 常足)これは、やはりモンゴルならではの言葉だと思えます。
- n; 次に、風ですが、この場合も日本は4つでモンゴルは1つだけとなっています。低学年の教科書には、春らしい風や、冬の風などのオノマトペは見られなく、勢いがいい風の音として出ています。(風がヒューヒューとふく、どどどと風がふく、どつと風がふく、ドウドウドウザワザワとふく)(сэр сэр үлээнэ さわさわ)

7. r;教科書から、少し離れますが、子供の歌を見てみると、日本の子供の歌には、かなりオノマトペが出ているのに対して、日本と比べると、モンゴルの子供の歌には、オノマトペがかなり少ないこともわかりました。
8. n;私たちは、それぞれの学校で、そよそよ、さらさら、きらきら、ザーザーという4つのオノマトペで、アンケートを取ってみました。その結果を見てみると、風に関しては、割と同じような感じを受けるのかなあと思いました。
9. n;日本では、子供の歌を覚える時点で、ずいぶんオノマトペにつながる音が出ています。例えば、動物の場合、馬では「ぼっくりぼっくり 歩く」、犬「ワン、ワン」、ねこ「にゃあにゃあ」こぶた、たぬき きつね「ブブブー、ぼんぼこぼん、コンコン」・・・です。風に関しては、「春の風」(坂田修作詞)・・・スィー、スィーとなど。同じ題名で「春の風」(広瀬量平作詞)・・・ふわふわりと春の風・・・
10. 私たちが調べたオノマトペは、大体こんな感じですよ。  
n;昨年卒業した12年生の中に、日本のアニメが好きな子がいて、授業で話したオノマトペが、アニメでも出てきて、オノマトペの効果が理解できたという子がいました。

参考図書:

日本 光村図書、教育出版、東京書籍

モンゴル 1-5年生までのモンゴル語の教科書

Өнөрбаян.Ц. Орчин цагийн монгол хэлний үйл үг бүтэх ёс. Дагаврын аргаар бүтэх ёс, УБ.,2000 он

Баасанпагма.Д. Монгол-Орос хэлний дүрс дуурайх үгийн зэрэгцүүлсэн судалгаа, УБ.,2014 он

Дүүрэнжаргал.Ч. Солонгос-Монгол хэлний авиа дуурайх үгийн харьцуулсан судалгаа, УБ., 2010 он

## ◆質疑応答

**Q1(奥泉香 日本体育大学):** 調べてみた上で一番の発見、気づいたところは何ですか。

**A1(D.ルブサンジャルガル 第18番学校):** モンゴルの子供は読解力が弱いと言われています。もし、出てくるオノマトペを分かっていたら、その理解度にも影響するのではないかと思います。

**Q2(奥泉香 日本体育大学):** 日本の教科書に比べて モンゴルの小学校教科書の中に特に動物のオノマトペが多いと言っていますが、読解の助けとして今まで授業の中で使っているような授業はこれまでもされてきたんですか。

**A2(D.ルブサンジャルガル 第18番学校):** あまり使ってきてはいないけれども、母音の長音などを教えるときに使っています。

**A2(中西令子 モンゲニ統合学校):** 鳴き声は長音、拗音、促音などが多く出てくるので意義のあるものだと思う。

**(奥泉香 日本体育大学):** そうですね。鳴き声だと特に、長音などの身の回りの名詞にはなかなか出てこないような音がありますね。

**Q3(奥泉香 日本体育大学):** 中西先生の発見、調べてみて改めて気付いたことは何か？授業に生かしてみようかなと思った事ありますか。

**A3(中西令子 モンゲニ統合学校):** 表現力を広げるために使うのはいいと思う。みんなのた。オノマトペがあると立体感がある。ストーリー性がある。「ひろこさんのたのしい日本語」には物語があるので、もう一度使いたいと生徒が言ったことがある。ストーリー性のある教材を与えたいと思っています。それにはオノマトペ抜きでは考えられないと思いました。

### オノマトペを作る活動(モンゴル、日本)